

にせい、情報科学第1次5カ年計画の案の実現をはかられるよう。

かさねて政府に要望する所以は、その後3カ年における急激な進歩に即応することが緊急なためである。

7-73

庶発第1,566号 昭和43年11月22日

内閣総理大臣 佐藤 栄作 殿

日本学術会議会長 朝 永 振一郎

(写送付先：科学技術庁長官、文部大臣)

研究所等の設立ならびに研究体制確立の推進について(申入れ)

標記のことについて、本会議第837回運営審議会の議に基づき、下記のとおり申し入れます。

記

1. 政府は、日本学術会議がすでに勧告した研究所等について、その設立の準備の整っているものについては早急に実質審議を開始されたい。
なお、その際、その分野の将来計画との関連に留意されたい。
また、現在すでに審議を終えているものについては、早急にその実現を図られたい。
2. 日本学術会議の勧告した研究所等は新しい共同研究の体制を必要としている。政府は、速やかに検討を開始し、日本学術会議勧告の精神が守られる体制を確立されたい。
3. 現在、素粒子研究所設立の審議が進められているが、この場合、原子核研究将来計画全体との関連を考慮すること。また、その体制のあり方は今後設置される諸研究所等の体制に重大な関係があるので、日本学術会議勧告の精神を守り、その原則を確認しつつ、速やかに設置の方向でこれを推進されたい。